

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 平成25年11月6日

【四半期会計期間】 第86期第2四半期(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

【会社名】 フジオーゼックス株式会社

【英訳名】 FUJI 00ZX Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 深谷研悟

【本店の所在の場所】 静岡県菊川市三沢1500番地の60

【電話番号】 (0537)35-5873

【事務連絡者氏名】 常務取締役 野地俊広

【最寄りの連絡場所】 静岡県菊川市三沢1500番地の60

【電話番号】 (0537)35-5873

【事務連絡者氏名】 常務取締役 野地俊広

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第85期 第2四半期 連結累計期間	第86期 第2四半期 連結累計期間	第85期
会計期間		自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高	(千円)	7,976,240	7,822,890	15,939,679
経常利益	(千円)	735,870	863,440	1,418,053
四半期(当期)純利益	(千円)	442,850	704,842	839,559
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	451,423	971,717	1,079,571
純資産額	(千円)	20,188,806	21,583,027	20,714,215
総資産額	(千円)	23,253,737	24,799,444	23,962,985
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	21.55	34.30	40.86
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)	-	-	-
自己資本比率	(%)	86.2	86.2	85.8
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	1,237,759	225,139	2,392,864
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	249,236	70,966	983,874
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	143,924	102,905	246,663
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	8,992,435	9,286,893	9,308,525

回次		第85期 第2四半期 連結会計期間	第86期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	9.48	19.39

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社企業集団において営まれている事業の内容について重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、新たに締結した重要な契約は次のとおりであります。

技術供与契約(提出会社)

提携先	国籍	契約品目	契約の内容	契約期間	対価の算定
PT. FUJI 00ZX INDONESIA	インドネシア	エンジンバルブ、 コッタ、リテーナ 他	製造、販売、使 用の非独占的実 施権の許諾	自平成25年9月26日 至平成28年9月25日	契約品目の純売 上高につき一定 の比率

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間における世界経済の状況は、米国の景気が穏やかな回復基調にあります。中国をはじめとする一部新興国の経済成長の鈍化や、欧州経済の長期低迷など世界経済は先行き不透明な状況が続いております。

一方、わが国の経済状況は、現政権下での金融政策による円高是正や各種政策による経済成長への期待から景気回復の兆しが伺え、景況感は改善されたものの、海外景気の下振れリスクの懸念や、消費税増税などに対する景気後退リスクなど、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが属する自動車業界では、円高の是正から輸出は回復傾向がみられ、国内需要もエコカー補助金終了に伴う国内需要低迷からの穏やかな持ち直しの動きがみられます。

このような状況の中で当社グループは、新たな成長を目指し将来を見据えたグローバル体制の構築や新技術・新工法の開発に加え、現場力の強化を図り、生産効率の向上やコスト削減にも取り組み競争力を高め、収益改善に努めました。

これにより、売上高は7,823百万円（前年同期比153百万円減）、営業利益は573百万円（前年同期比142百万円減）、経常利益は863百万円（前年同期比128百万円増）、四半期純利益は705百万円（前年同期比262百万円増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

自動車部品製造

当セグメントにおきましては、円高是正に伴う海外向け需要の高まりや、エコカー補助金終了に伴う国内需要低迷からの穏やかな持ち直しがみられましたが、売上高は7,440百万円（前年同期比101百万円減）、セグメント利益（営業利益）は521百万円（前年同期比128百万円減）となりました。

流通

当セグメントにおきましては、自動車部品の取引量に連動し、売上高は383百万円（前年同期比53百万円減）、セグメント損失（営業損失）は6百万円（前年同期比19百万円減）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は24,799百万円となり、前連結会計年度末に比べ836百万円増加しております。

（流動資産）

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は15,262百万円と前連結会計年度末に比べ125百万円増加しております。

主な要因は次のとおりであります。

- ・商品及び製品等のたな卸資産が179百万円増加しております。
- ・流動資産（その他）に含まれている繰延税金資産が54百万円減少しております。

（固定資産）

当第2四半期連結会計期間末の固定資産は9,538百万円と前連結会計年度末に比べ712百万円増加しております。

（流動負債）

当第2四半期連結会計期間末の流動負債は2,932百万円と前連結会計年度末に比べ114百万円減少しております。

主な要因は次のとおりであります。

- ・未払法人税等が372百万円減少しております。
- ・流動負債（その他）に含まれる設備支払手形が55百万円増加しております。
- ・流動負債（その他）に含まれる未払金が199百万円増加しております。

（固定負債）

当第2四半期連結会計期間末の固定負債は284百万円と前連結会計年度末に比べ82百万円増加しております。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末の純資産の残高は21,583百万円と前連結会計年度末に比べ869百万円増加しております。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」と言う。）は、前連結会計年度末に比べ22百万円減少し、9,287百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、得られた資金は、225百万円（前年同期比81.8%減）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益1,119百万円、減価償却費290百万円であり、支出の主な内訳は、持分法による投資利益140百万円、棚卸資産の増加154百万円、固定資産売却益256百万円、法人税等の支払額542百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は71百万円（前年同期比71.5%減）となりました。収入の主な内訳は、有形固定資産の売却による収入300百万円であり、支出の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出329百万円、無形固定資産の取得による支出14百万円、敷金及び保証金の差入による支出20百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は103百万円（前年同期比28.5%減）となりました。これは主に配当金の支払によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費の総額は87百万円であります。

(6) 経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通し

今後の見通しにつきましては、円高の是正や株価の持ち直しなどの動きから景気回復が期待される一方で、欧州債務問題の長期化や中国経済の成長性鈍化など、下振れリスクを抱え不透明な経済環境が続くものと予想されます。

また、国内の自動車需要は今後大幅な増加は見込めず、また海外での現地生産化が進展しており、更なる輸出の伸びは期待することができないことから、厳しい事業環境が続くものと予想されます。

このような状況の中、当社グループではグローバル化への対応として、インドネシア共和国にPT. Prospect Motorと合併でPT. FUJI 00ZX INDONESIAを新たに設立し、2014年度下期の操業に向け準備を進めてまいります。また中国子会社である富士気門(広東)有限公司で素材から鍛造、機械加工を行う一貫生産の本格的な運用を開始し、売上増加と財務状況の改善をはかってまいります。また国内では物造りにおけるマザー工場として、新技術・新工法の開発に加え、現場力向上を目指します。さらに原価低減活動による利益の確保、経費削減活動による固定費の低減などに取り組んでまいります。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	40,000,000
計	40,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年11月6日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	20,559,500	20,559,500	東京証券取引所 市場第二部	単元株式数は 1,000株であります。
計	20,559,500	20,559,500	-	-

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金 増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年7月1日 ~ 平成25年9月30日		20,559,500		3,018,648		2,769,453

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
大同特殊鋼株式会社	名古屋市東区東桜1丁目1-10	9,339	45.42
大同興業株式会社	名古屋市東区東桜1丁目1-10	1,083	5.26
ジェイアンドエス保険サービス株式会社	東京都中央区日本橋茅場町1丁目2-14	655	3.18
株式会社りそな銀行	大阪市中央区備後町2丁目2番1号	642	3.12
UBS AG LONDON A/C IPB SEGREGATED CLIENT ACCOUNT (常任代理人:シティバンク銀行株式会社)	BAHNHOFSTRASSE 45, 8001 ZURICH, SWITZERLAND (東京都品川区東品川2丁目3番14号)	462	2.24
フジオーゼックス取引先持株会	静岡県菊川市三沢1500-60	444	2.15
ティーアールダブリュ オートモーティブ・ジェーヴィー・ エルエルシー (常任代理人:南広仁)	1900 RICHMOND ROAD CLEVELAND, OHIO 44124.U.S.A. (横浜市中区新山下町1丁目16-5)	413	2.00
CREDIT SUISSE AG ZURICH (常任代理人:(株)三菱東京UFJ銀行)	UETLIBERGSTRASSE 231 P.O.BOX 600 CH- 8070 ZURICH SWITZERLAND (東京都千代田区丸の内2丁目7-1)	266	1.29
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8-11	227	1.10
石井良明	東京都町田市	190	0.92
計		13,722	66.74

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 12,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 20,532,000	20,532	-
単元未満株式	普通株式 15,500	-	1単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	20,559,500	-	-
総株主の議決権	-	20,532	-

(注) 1. 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が1,000株(議決権の数1個)含まれております。

2. 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社保有の自己株式165株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数の 割合(%)
(自己保有株式) フジオーゼックス株式会社	静岡県菊川市三沢 1500番地の60	12,000	-	12,000	0.0
計	-	12,000	-	12,000	0.0

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成25年7月1日から平成25年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年 3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年 9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,750,594	7,736,180
受取手形及び売掛金	² 3,833,314	² 3,824,732
商品及び製品	549,913	652,704
仕掛品	476,218	483,720
原材料及び貯蔵品	606,512	674,771
その他	1,926,515	1,895,487
貸倒引当金	6,000	6,000
流動資産合計	15,137,065	15,261,593
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,850,431	2,917,778
機械装置及び運搬具(純額)	1,521,674	1,760,709
土地	2,553,467	2,509,018
その他(純額)	392,191	548,978
有形固定資産合計	7,317,762	7,736,483
無形固定資産		
のれん	7,383	6,515
その他	28,422	40,141
無形固定資産合計	35,806	46,656
投資その他の資産		
その他	1,501,757	1,783,417
貸倒引当金	29,405	28,705
投資その他の資産合計	1,472,352	1,754,712
固定資産合計	8,825,920	9,537,851
資産合計	23,962,985	24,799,444
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	² 1,586,865	² 1,622,513
未払法人税等	558,600	186,452
賞与引当金	51,437	78,782
役員賞与引当金	37,350	-
その他	² 812,383	² 1,044,603
流動負債合計	3,046,636	2,932,350
固定負債		
退職給付引当金	37,562	40,404
役員退職慰労引当金	3,375	2,950
環境対策引当金	24,499	24,499
その他	136,698	216,214
固定負債合計	202,134	284,067
負債合計	3,248,770	3,216,417

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,018,648	3,018,648
資本剰余金	2,769,453	2,769,453
利益剰余金	15,230,479	15,832,582
自己株式	5,896	6,062
株主資本合計	21,012,683	21,614,620
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	459,611	236,502
その他の包括利益累計額合計	459,611	236,502
少数株主持分	161,143	204,908
純資産合計	20,714,215	21,583,027
負債純資産合計	23,962,985	24,799,444

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	7,976,240	7,822,890
売上原価	6,295,592	6,195,214
売上総利益	1,680,649	1,627,676
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	301,073	334,504
賞与引当金繰入額	19,068	9,197
退職給付費用	36,923	22,533
その他	608,831	688,296
販売費及び一般管理費合計	965,894	1,054,530
営業利益	714,754	573,147
営業外収益		
受取利息	2,864	1,870
受取配当金	1,080	840
持分法による投資利益	38,386	140,424
受取賃貸料	25,220	25,390
為替差益	-	141,218
その他	16,409	19,276
営業外収益合計	83,959	329,017
営業外費用		
支払利息	1	-
固定資産除却損	3,751	19,160
為替差損	35,043	-
賃貸収入原価	12,309	11,984
その他	11,740	7,581
営業外費用合計	62,843	38,724
経常利益	735,870	863,440
特別利益		
固定資産売却益	-	255,551
特別利益合計	-	255,551
税金等調整前四半期純利益	735,870	1,118,991
法人税、住民税及び事業税	366,653	193,500
法人税等調整額	55,280	198,409
法人税等合計	311,373	391,909
少数株主損益調整前四半期純利益	424,497	727,082
少数株主利益又は少数株主損失()	18,354	22,240
四半期純利益	442,850	704,842

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	424,497	727,082
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	8,071	86,163
持分法適用会社に対する持分相当額	18,856	158,471
その他の包括利益合計	26,927	244,635
四半期包括利益	451,423	971,717
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	466,218	927,951
少数株主に係る四半期包括利益	14,795	43,766

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	735,870	1,118,991
減価償却費	289,236	289,820
貸倒引当金の増減額(は減少)	5,090	700
賞与引当金の増減額(は減少)	96,886	26,796
役員賞与引当金の増減額(は減少)	27,440	37,350
退職給付引当金の増減額(は減少)	8,893	2,842
前払年金費用の増減額(は増加)	3,747	589
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	528	425
固定資産売却損益(は益)	-	255,551
受取利息及び受取配当金	3,944	2,710
支払利息	1	-
持分法による投資損益(は益)	38,386	140,424
有形固定資産処分損益(は益)	2,749	20,171
売上債権の増減額(は増加)	416,944	17,501
たな卸資産の増減額(は増加)	112,801	154,196
仕入債務の増減額(は減少)	322,279	16,621
その他	19,849	137,887
小計	1,007,279	762,911
利息及び配当金の受取額	39,248	3,902
利息の支払額	1	-
法人税等の還付額	229,793	-
法人税等の支払額	38,560	541,674
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,237,759	225,139
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	228,835	328,724
有形固定資産の売却による収入	1,018	300,083
無形固定資産の取得による支出	1,805	14,064
敷金及び保証金の差入による支出	19,787	19,775
その他	173	8,486
投資活動によるキャッシュ・フロー	249,236	70,966
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	143,836	102,739
自己株式の取得による支出	88	166
財務活動によるキャッシュ・フロー	143,924	102,905
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,554	72,900
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	843,045	21,632
現金及び現金同等物の期首残高	8,149,390	9,308,525
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,992,435	9,286,893

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1. 保証債務

関連会社の借入金に対して、下記のとおり債務保証を行っております。

前連結会計年度 (平成25年3月31日)		当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)	
TRW Fuji Valve Inc.	165,519千円 (1,761千ドル)	TRW Fuji Valve Inc.	181,752千円 (1,859千ドル)

2. 四半期連結会計期間末日満期手形等の処理

四半期連結会計期間末日満期手形等の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、下記の四半期連結会計期間末日満期手形等を満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
受取手形及び売掛金	71,650千円	-
支払手形及び買掛金	9,093千円	-
流動負債 その他(未払金)	4,450千円	-
流動負債 その他(設備支払手形)	1,000千円	-

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金勘定	7,445,740千円	7,736,180千円
流動資産 その他(預け金)	1,546,695千円	1,550,713千円
現金及び現金同等物	8,992,435千円	9,286,893千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月26日 定時株主総会	普通株式	143,836	7.00	平成24年3月31日	平成24年6月27日	利益剰余金

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年10月26日 取締役会	普通株式	102,739	5.00	平成24年9月30日	平成24年12月4日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月25日 定時株主総会	普通株式	102,739	5.00	平成25年3月31日	平成25年6月26日	利益剰余金

2 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年10月28日 取締役会	普通株式	102,737	5.00	平成25年9月30日	平成25年12月3日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	自動車部品製造	流通	
売上高			
外部顧客への売上高	7,540,705	435,535	7,976,240
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,629	261,319	264,948
計	7,544,334	696,854	8,241,188
セグメント利益	648,933	12,527	661,460

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	661,460
セグメント間取引消去	53,294
四半期連結損益計算書の営業利益	714,754

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な変動はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	自動車部品製造	流通	
売上高			
外部顧客への売上高	7,440,054	382,836	7,822,890
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,776	265,348	269,124
計	7,443,830	648,184	8,092,014
セグメント利益又は損失()	521,204	6,341	514,863

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	514,863
セグメント間取引消去	58,284
四半期連結損益計算書の営業利益	573,147

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な変動はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	21円55銭	34円30銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	442,850	704,842
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	442,850	704,842
普通株式の期中平均株式数(株)	20,547,926	20,547,489

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成25年10月28日開催の取締役会において、第86期(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)中間配当につき、次のとおり決議いたしました。

- (1) 中間配当総額 102,737千円
- (2) 1株当たり中間配当金額 5円00銭
- (3) 支払請求権の効力発生日及び支払開始日 平成25年12月3日

(注) 平成25年9月30日現在の株主名簿に記録または記録された株主に対し、支払を行います。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年10月28日

フジオーゼックス株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 松井夏樹 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 今泉誠 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているフジオーゼックス株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月31日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、フジオーゼックス株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。